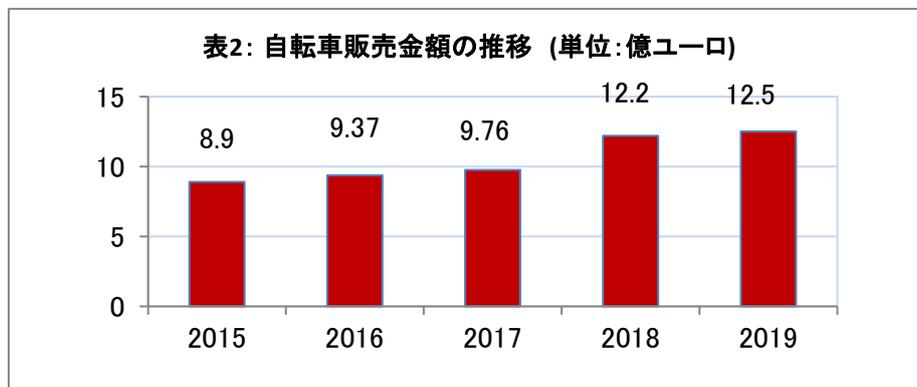
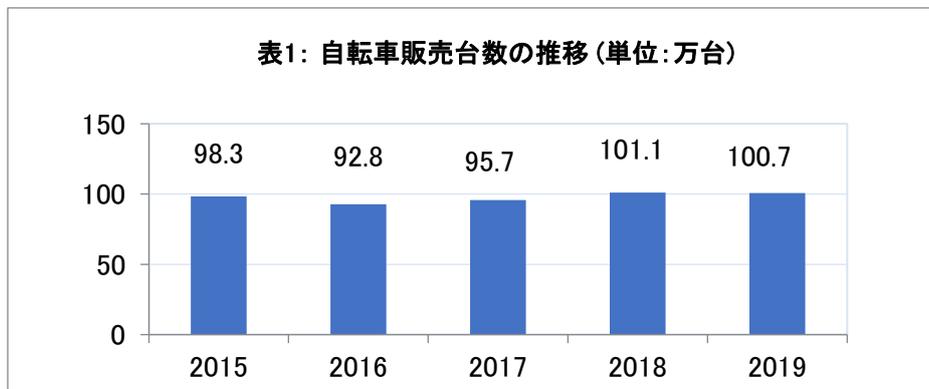


オランダ自転車市況-2019

1. 販売動向

RAI Vereniging(オランダ車両工業会、以下 RAI)、BOVAG(オランダ自動車自転車商業組合)によると、オランダの自転車販売台数は、2019 年は前年比 0.4%減の 100.7 万台となり、わずかに減少した。一方、2019 年の自転車販売金額は、前年比 2.5%増の 12 億 5,245 万ユーロ(1,477 億 8,910 万円)と増加している。販売台数は減少したにもかかわらず、販売金額が増加した要因は、価格の高い電動アシスト自転車(EPAC)の販売が増加しているためである。



2019 年の自転車平均販売価格は、上述の EPAC 販売好調により、自転車販売業全体では前年比 3%高の 1,243 ユーロ(146,674 円)に上昇した。従来から高額商品の取り扱いが多い自転車小売専門店とは同比 8.3%高の 1,323 ユーロ(156,114 円)となり、1,300 ユーロを超える高額に達した。

表 3: 平均販売価格の推移 (単位:ユーロ)

年	2015	2016	2017	2018	2019
平均価格(全体)	914	1010	1020	1207	1243

平均価格(自転車小売専門店)	1058	1091	1086	1222	1323
----------------	------	------	------	------	------

2. 業態別、価格帯別販売動向

2019年の業態別売上台数比率は、「自転車小売専門店」と「量販店、スーパーなど」の比率は前年同様となった。自転車小売専門店の比率はここ数年7割を維持しているが、その要因として、オランダの消費者は品質やサービスを重視し自転車小売専門店で購入を希望するためとみられる。特に高額なEPAC購入の際は、量販等の廉価車よりも専門店の高品質のブランド車を好む傾向が強く、自転車小売専門店が高い比率を維持していると思われる。

表4: 業態別売上台数比率の推移

販売形態	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
自転車小売専門店	70%	76%	79%	75%	75%
量販店、スーパーなど	30%	24%	21%	25%	25%

2019年の価格帯別売上台数比率は、300ユーロ(35,400円)以下の最低価格帯は前年より3ポイント減の9%となった。それに次ぐ低価格帯301~499ユーロ(35,518~58,882円)は前年より3ポイント減の11%となった。更に中価格帯の500~699ユーロ(59,000~82,482円)も2ポイント減の17%となり、低・中価格帯の落ち込みが目立った。

高価格帯700~899ユーロ(82,600~106,082円)は前年同様の13%で推移したが、最高価格帯900ユーロ(106,200円)以上は、7ポイント増の49%と前年より更に比率を増やし、全体の半数近くに達した。最高価格帯の比率上昇が続く理由は、販売価格の高いEPAC販売増加にあると考えられる。

表5: 価格帯別売上台数比率の推移

価格帯(EURO)	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
300以下	12%	11%	11%	12%	9%
301~499	17%	16%	19%	14%	11%
500~699	21%	22%	21%	19%	17%
700~899	16%	15%	13%	13%	13%
900以上	33%	35%	36%	42%	49%

3. 車種別販売動向

2019年の車種別売上台数比率は、シティ車(ダッチバイク)を含む一般用自転車は、前年より1ポイント減少の33%に減少した。ハイブリッド車(クロスバイク等)、子供車は前年同様の比率となったが、ロードバイクやMTB等のスポーツ車を含む「その他」は前年より1ポイント減の10%となり、ここ数年は増減を繰り返している。一方、年々比率が上昇し

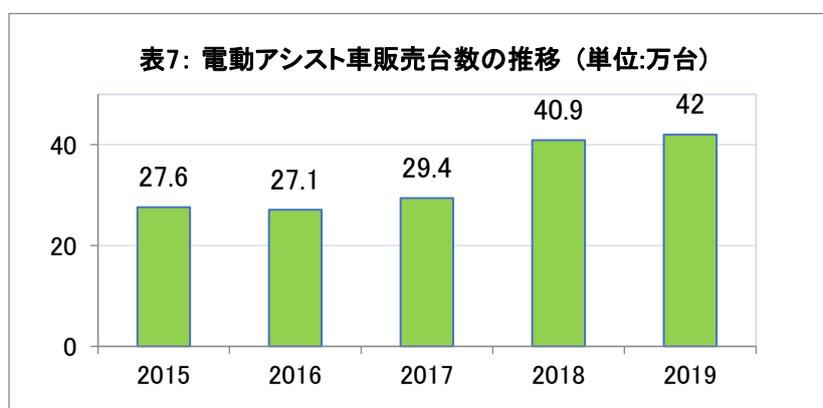
ている電動アシスト自転車 (EPAC) は、前年より 2 ポイント増の 42% と更に増加を続け、最多比率の地位を確実なものとした。

表 6: 車種別売上比率の推移

車種	2015 年	2016 年	2017 年	2018 年	2019 年
一般用自転車	42%	43%	42%	34%	33%
ハイブリッド車	5%	6%	5%	4%	4%
子供車	14%	12%	12%	11%	11%
電動アシスト自転車	28%	29%	31%	40%	42%
その他 ※	11%	10%	10%	11%	10%

※その他には MTB/ATB、ロードレーサー及び折りたたみ車が含まれる

EPAC 販売台数は、2016 年にわずかに減少しピークに達したかと思われたが、その後再び増加に転じ、2019 年は前年比 2.7% 増の 42 万台となり増加を続けている。一般自転車の販売が停滞する中、EPAC 販売は引き続き堅調に推移すると RAI は見込んでいるが、新型コロナウイルスの感染拡大が 2020 年市況にどのような影響を及ぼすか、先行き不透明である。

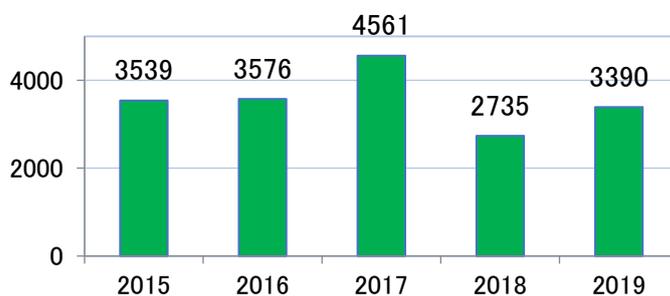


4. Speed Pedelecs

モーター出力 250W まで、ペダル補助は速度 25km/h までと定められている EPAC よりもモーター出力と補助速度が高い Speed Pedelecs について、RAI は 2015 年より販売台数を公表している。同車種の販売台数は、2018 年には前年比 4 割減と大幅に落ち込んだが、2019 年には前年比 23.9% 増の 3,390 台となり復調した。

2019 年の Speed Pedelecs の販売上位 5 ブランドは、スイスのストーマーが 2017 年より首位である。2 位はドイツのリーゼ&ミュラーとなり、次いで地元ブランドのガゼレが続く。ストーマーは 2 種の販売であるのに対し、リーゼ&ミュラーは 14 種もの多岐にわたり販売されている。

参考1: Speed Pedelecs販売台数の推移 (単位:台)



参考2: Speed Pedelecs 販売上位5ブランドの推移 (単位:台)

	2015年		2016年	
	1	スパルタ	1393	リーゼ&ミュラー
2	リーゼ&ミュラー	903	ストーマー	712
3	ストーマー	472	スパルタ	662
4	ガゼレ	128	ガゼレ	518
5	カルクホフ	119	アクセル(バタバス)	125

	2017年		2018年	
	1	ストーマー	1842	ストーマー
2	リーゼ&ミュラー	779	リーゼ&ミュラー	533
3	ガゼレ	462	DUTCH ID	251
4	スパルタ	414	ガゼレ	205
5	DUTCH ID	128	スペシャライズド	141

	2019年	
1	ストーマー	1558
2	リーゼ&ミュラー	566
3	ガゼレ	341
4	QWIC	164
5	クレバー	147

以上

統計出所: RAI Vereniging /BOVAG